

+++++

「植物と人々の博物館メールマガジン」 第44号 2018年7月3日発行

+++++

雑穀見本園の穀類は大方順調に生育しています。ダーチャ（家庭菜園）では、キャベツ、ブロッコリ、夏大根がテントウムシダマシにも耐えて、有機無農薬ながら、満身に収穫できました。今年はジャガイモにソウカ病が少し出ています。痛んでないインカのめざめと男爵を幾人かの方々におすそ分けしています。コムギは収穫、乾燥、脱穀中です。トウモロコシ3品種も開花し始め、借金なし大豆、モロッコインゲン2品種、ヒヨットを播きました。夏野菜の生育のために雨を期待したいところです。

日本村塾ゼミで、自然のなかでの暮らしや生業について皆様と一緒にもっと学び、山村に暮らす楽しみ、人々の幸せや誇りについて語り合いたいです。都市民はもっと自然に親しまないと、人間でないものAIの下僕になってしまいます。50年前の大学部生の頃に書いた拙文を読み返してみたら、今考えていることと同じようなことを書いてました。著者が成長しなかったのか、人類がいよいよ危ないのか？反省しながら、エッセイを書いています。

会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。

なお、自然文化誌研究会の全体の活動は会誌「ナマステ」季刊でお知らせしています。友の会会員になっていただければうれしいです。

また、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人に転送伝達していただけるとありがたいです。

○報告

1. 植物と人々の博物館 学大探検部収集の民具類も整理・収蔵・展示しています。

2. 雑穀街道とFAO世界農業遺産 FAO世界農業遺産関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道』では、雑穀街道普及会の賛同者を募っています。

秩父からも賛同して下さる方が増えています。賛同が広がるようにどうぞご援助くださいますようお願いいたします。FAO世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように、一層のご助力をお願いします。

下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。世界農業遺産などに関する紙ベースの資料・図書は

「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」（小菅村井狩）で閲覧していただけます。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

なお、『日本雑穀のむら』序章で雑穀の栽培史、第4章で、雑穀街道地域の調査研究の成果（1974～2017）をまとめてあります。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/milletn/jnmpilvil.html>

3. 森とむらの図書室 日本の食文化・民俗関係を整理しています。順次資料のリストはホームページで公開しますので、ご利用ください。藤野分室の管理について、7月2日に、藤野ビールを飲みながら話し合いました。

4. 藤野での雑穀栽培講習会は駅前の畑を藤野倶楽部のご厚意でお借りして継続しています。藤野では伝統的にも、新規にも雑穀栽培している方が多くなってきています。

○予定

1. 開館作業予定日：2018年7月20日（金）、27日（金）、8月3日（金）、9日（木）の予定です。

植物と人々の博物館／森とむらの図書室では、順次、図書・植物標本・資料や民具の展示解説をしています。ご利用くださるとともに、作業にご協力いただきたく、よろしく申し上げます。ご利用や協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。

ご都合に合わせて、上記以外でも日程調整します。場所は小菅村井狩集落バス停近く、細川邸の前、道の駅臨時駐車場の坂を下ってすぐです。

kibi20kijin@yahoo.co.jp

2. 講義：7月22日（日）午後1時～3時、話題：日本に伝播したアフリカ起源の栽培植物と料理。JICA地球広場市ヶ谷。

3. 環境教育学会エクスカッション：8月27日（月）。小菅村、内容未定。

4. 「憲法に環境原則を追加する提案」についての研究会を認定NPO法人環境文明21（憲法部会）で行っています。次回は未定ですが、2018年10月20日（土）、議員会館でシンポジウムを予定しています。ご興味があれば詳細をお知らせします。

現在の提案書（憲法前文と第三章環境を加筆）は次のホームページで読めます。

<http://www.kanbun.org/2017/170824teigen/170824teigen.html>

5. 日本村塾の自給農耕ゼミ、民族植物学ゼミ、扶桑こくゼミは、希望者があれば日時・場所・話題などを調整して、読書会を開催します。都市農業や家族農業の図書文献は森とむらの図書室（小菅および藤野分室）で閲覧できます。講演や研究報告はホームページで読めます。

6. 民族植物学第11号は近日中に発行します。第12号の原稿締め切りは2018年8月末とします。関東地方の雑穀栽培、先真文明への覚書5、書評など準備していますが、ご寄稿を歓迎します。バックナンバーは第7号～第10号まで少しあり、希望者に差し上げます。第1号から第10号まで、すべての記事は植物と人々の博物館ホームページで読めます。メールマガジンもすべて記録してあります。ナマステ第132号には夏の活動予定や旅行記などのエッセイが載っています。自然文化誌研究会のホームページで読めます。

7. 『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』は民族・信仰について学びながら、南アジアについて、個人の現地調査の体験をまじえながら、自由に書いています。現在はスリランカとバングラデシュの雑穀を研究会に参加し、文献を読んで、学んでいます。

『日本雑穀のむら』は序章雑穀との出会い、補論1雑穀の用語法を新たに公開しました。『環境学習原論』および『第四紀植物』、“Essence of Ethobotany”はまだ非公開ですが、書き進めています。これらは、下記の個人ホームページで読めます。引用してくださる場合は、順次必要に応じて改訂していきますので、「木俣（2018未定稿）」としてくださるようお願いいたします。

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミューゼス研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletsworld/millstr.html>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） npo-inch@wine.plala.or.jp

公式 HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行： 木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp

個人 HP：生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

木俣美樹男 Mikio KIMATA kibi20kijin@yahoo.co.jp

植物と人々の博物館／日本村塾 研究員塾生

Nihonmura College for Environmental Studies, Plants and People Museum

公式 HP: <http://www.ppmusee.org>

個人 HP: <http://www.milletimplic.net>